

ICUにおける手術後の安全管理 に関する取り組みの一例

タイムアウトの実施

タイムアウトは、手術後ICU入室時に行われる情報共有の場です。
手術ではどんなことが行われてきたのか、手術後の管理では何に注意して
観察・管理すれば良いのか等を話し合います。
多職種で集まって話し合うことで、共通認識が生まれ安全管理に繋がります。

◎実際の流れを確認してみよう

手術室→ICUへ

病室に到着したらまずは
患者さんの状態、バイタルサイン
を確認します



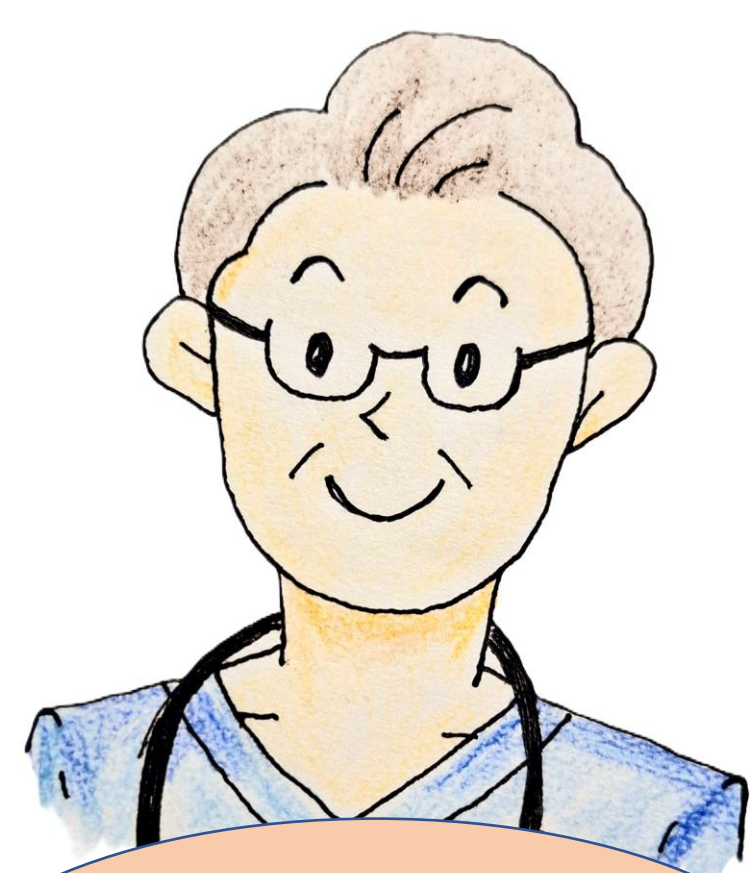
<参加メンバー>

- 主治医
- 手術室の麻酔科医
- ICU医師
- 手術室の看護師
- ICUの看護師

タイムアウトの実施



どんなことを
情報共有
しているのか？



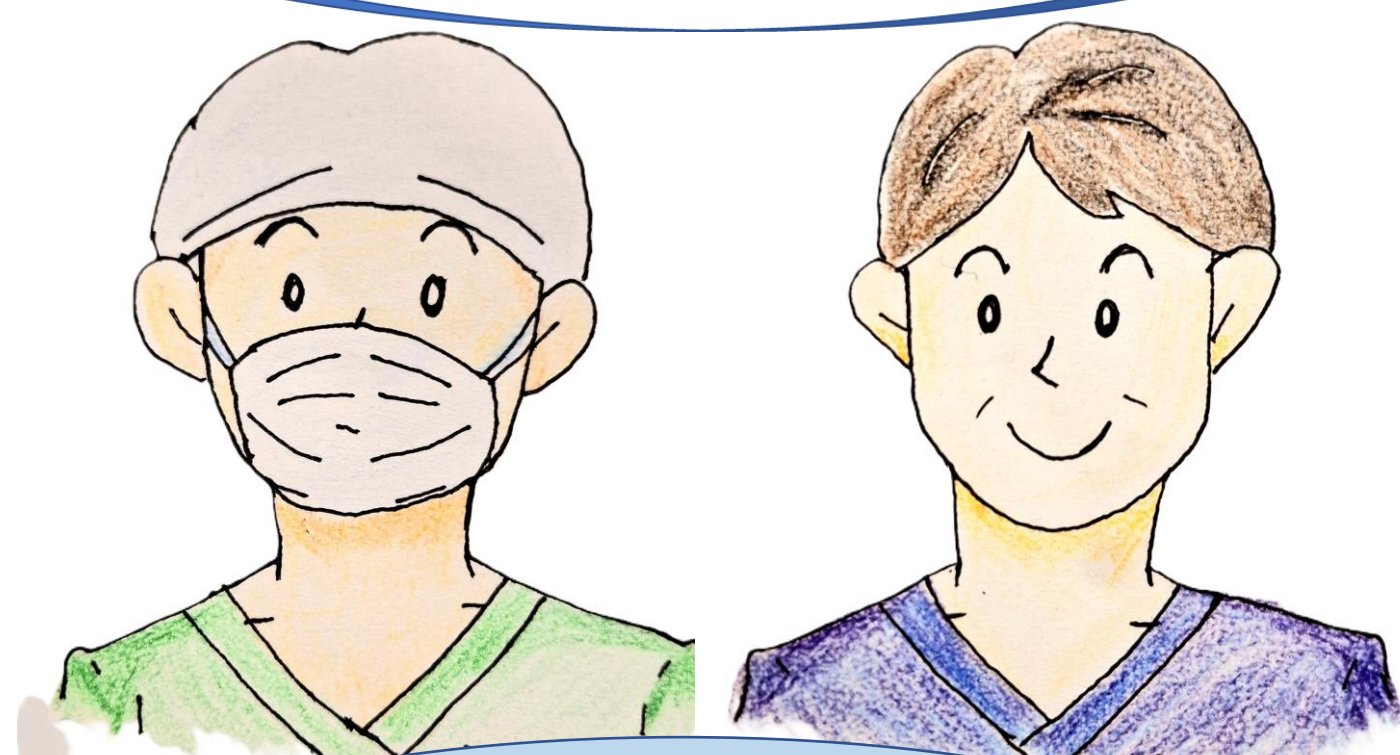
主治医

- 手術の術式
- 手術後に注意して管理してほしいポイント
(血圧や血糖値、尿量等)
- 使用可能な薬剤や
使用を控えてほしい薬剤
- 安静度 (どのくらい動いて良いのか、制限はあるのか)



申し送り事項

情報共有
共通認識



手術室の麻酔科医
ICU医師

- 手術中の麻酔管理は
どうだったか
- 手術中の呼吸状態や
バイタルサインに問題は
なかったか
- 手術中の出血量、水分出納
- 使用薬剤について
- 鎮痛管理について
(痛み止めの最終使用時間)

どんなことに
気を付けたいの？



手術室の看護師
ICUの看護師

- 手術前の体重
- 点滴ルート的位置と種類
- ドレーン等の管類は留置
されているか
- 皮膚トラブルはあったか
- 薬剤の最終使用時間は
いつか
- クリニカルパスの使用の
有無

患者さんにとって手術は人生の一大イベントです。
緊張や不安の中で手術を受けられ、ICUに入室されてくるかと思えます。
患者さんの不安や痛み等の苦痛を少しでも軽減できるように情報共有をしっかりと行い、
共通認識のもとでチーム医療の力を発揮できるように日々努めています。